

多古町社協だより

平成23年(2011)

第85号

発行 平成23年5月1日



笑顔のために、僕らが今できること。

東日本大震災義援金募金にご協力ください。

義援金は、共同募金会を通じ被災者に配分されます。

写真は道の駅で募金をする買い物帰りの女性

主な
内容

2～5 ページ 予算
6～7 ページ カメラルポ・社会福祉大会
8 ページ 心配ごと相談など

編集・発行

社会福祉法人
多古町社会福祉協議会

多古町多古777番地1
電話 76-5940



共にたすけあい 生きがいとやすらぎの あるまちを



平成23年度の社会福祉協議会の予算が決まりました。

一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、8,210万8千円です。

「共にたすけあい、生きがいとやすらぎのあるまちを」の願いをこめた地域ぐるみ福祉を重点に、各種施策を推進していきます。

地域ぐるみ福祉ネットワーク事業

の推進

- 地区社会福祉協議会（多古第一・多古第二・多古第三・久賀・常磐・中地区）6地区への助成
- 在宅福祉サービス推進体制の確立
- ホームヘルプ事業で高齢者の自立支援
- 一人暮らし、ねたきり高齢者への食事サービス
- 外出支援サービス「ゆうあい号」等の運営
- ベッド、車椅子等の日常生活用具貸出
- 一人暮らし高齢者等の友愛訪問と支援
- 介護保険制度の調査、研究
- ボランティア活動の推進
- ボランティアセンターの設置
- ボランティアグループの育成と活動支援

年度予算

	82,108	千円
	62,101	千円
別会計	10,875	千円
	9,132	千円

○ボランティア養成講座、研修会の開催

福祉事業の推進

- 赤い羽根共同募金運動の実施
- 歳末たすけあい運動の実施
- 地区敬老会への助成
- 老人クラブ軽スポーツ大会助成
- ねたきり身体障害者（児）への慰問
- 身体障害者スポーツ大会助成
- 多古町親子ふれあいの会への援助
- 生活福祉資金等の支援
- 広報、啓発活動の推進
- 広報「さざんか」の発行
- 心配ごと相談所の設置
- 地域ぐるみ福祉振興基金の運用
- 国保多古中央病院売店事業
- 介護保険事業

このほか、各種福祉サービスを行っています。

社会福祉協議会はさまざまな場面で、地域の福祉増進に取り組んでいます。

収入

補助金収入が44・2%
会費収入445万8千円

支えあいのある豊かな福祉社会をめざし、多古町社会福祉協議会の今年度の一般会計予算は6,210万

1千円、前年度と比べ367万9千円の増です。

収入は、経常経費補助金収入が2,747万円5千円（44・2%）で、みなさんからご協力いただいている会費収入は445万8千円（72%）を見込んでいます。

このほか、共同募金収入は351万2千円（5.7%）などとなっていて、各経理区分の繰入繰出等を加えた予算規模は、前年度比6.3%増となっています。

支出

ボランティア活動
高齢者福祉活動など活発に

みなさんからご協力いただいている会費、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金などの温かいご支援は貴重な財源です。

ご協力に感謝いたします。一般会計は11経理区分に分類されています。

法人運営区分は法人の維持管理等で3,354万5千円、企画広報区分は、広報紙「さざんか」の発行で82万5千円。

地域福祉活動区分は福祉カーの運営費、食事サービス、ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問、福祉団体助成等で278万9千円。

地域ぐるみネットワーク区分では、

公益事業特別会計

(単位:千円)

勘定科目	居宅介護支援事業
経常活動による収支	
介護保険収入	7,776
雑収入	23
受取利息配当金収入	7
会計単位間繰入金収入	1,326
経常収入計 (1)	9,132
人件費支出	7,900
事務費支出	458
経常支出計 (2)	8,358
経常活動資金収支差額 (1)-(2)=(3)	774
施設整備等による収支	
施設整備等収入計 (4)	0
施設整備等支出計 (5)	0
施設整備等資金収支差額 (4)-(5)=(6)	0
財務活動による収支	
財務収入計 (7)	0
その他の支出	774
財務支出計 (8)	774
財務活動資金収支差額 (7)-(8)=(9)	△774
予備費 (10)	0
当期資金収支差額 (3)+(6)+(9)-(10)=(11)	0
前期末支払資金残高 (12)	0
当期末支払資金残高 (11)+(12)	0

地区社会福祉協議会の助成、ボランティア活動促進費等で371万9千円。
生活福祉資金区分は10万円。
臨時特例つなぎ資金貸付受託事業8千円。
共同募金区分では、高齢者福祉活動、歳末たすけあい活動など351万2千円。
心配ごと相談所区分では、28万5千円。

平成23 予算総額 一般会計 多古中央病院売店事業特 公益事業特別会計

福祉振興基金区分では、基金の利子運用で45万円。
他の経理区分では、居宅介護等事業で1,605万5千円、自立支援事業で人件費など81万3千円となっています。
無駄の無い運営と効果が求められる福祉予算。
経営の明確化と透明性を原則として、みなさんのから温かい資金を大切に運営させていただきます。

収益事業特別会計 (多古中央病院売店)

(単位:千円)

勘定科目	予算額
経常活動による収支	
事業収入	10,874
受取利息配当金収入	1
経常収入計 (1)	10,875
期首商品棚卸高	800
当期商品仕入高	7,920
期末商品棚卸高	△800
人件費支出	1,874
事務費支出	1,081
経常支出計 (2)	10,875
経常活動資金収支差額 (1)-(2)=(3)	0

施設整備等による収支	
施設整備等収入計 (4)	0
施設整備等支出計 (5)	0
施設整備等資金収支差額 (4)-(5)=(6)	0
財務活動による収支	
財務収入計 (7)	0
財務収支計 (8)	0
財務活動資金収支差額 (7)-(8)=(9)	0
予備費 (10)	0
当期資金収支差額益 (3)+(6)+(9)-(10)=(11)	0
前期末支払資金残高	0
当期末資金残高	0

資金収支計算書

資金収支計算書及び資金収支内訳書は、資金面での予算書です。

① 経常活動による収支の部は、収入では会費、補助金など、支出は人件費、事務費、事業費など。
② 施設整備などの収支の部は、収入では施設整備補助金などで、支出は

施設整備などに係る支出。

③ 財務活動による収支の部は、収入では積立預金取り崩し収入、支出は積立金支出など。
繰越金は、当期末支払資金残高で表示しています。

繰越金は、当期末支払資金残高で表示しています。



福祉大会で表彰を受ける多古中生

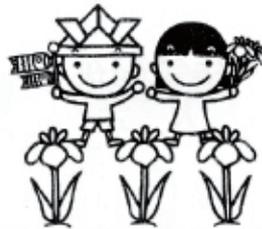


作文発表する多古中生

内訳書

(単位：千円)

臨時特例 事業	共同募金 配分事業	心配ごと 相談所事業	福祉振興 基金運営事業	居宅介護 等事業	自立支援 事業
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	150	0	0	0
0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	110	0
0	0	0	0	0	716
0	0	0	0	521	97
0	3,512	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	14,304	0
0	0	0	0	1,120	0
0	0	0	450	0	0
0	0	0	0	0	0
8	3,512	150	450	16,055	813
0	0	0	0	13,066	753
0	0	285	0	2,989	60
8	0	0	0	0	0
0	3,512	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	450	0	0
8	3,512	285	450	16,055	813
0	0	△ 135	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	△ 135	0	0	0
0	0	135	0	0	0
0	0	0	0	0	0



資 金 収 支 一 般

勘 定 科 目	一般会計	法人運営	企画広報	地 域 福 社	地域ぐるみネッ	生活福祉等
	合 計	事 業	普及活動	活動推進事業	ットワーク事業	貸付事業
経常活動による収支						
会費収入	4,458	2,532	700	346	880	0
寄付金収入	712	712	0	0	0	0
経常経費補助金収入	27,475	24,631	0	1,741	953	0
助成金収入	110	0	0	0	110	0
受託金収入	218	0	0	0	0	100
利用料収入	716	0	0	0	0	0
補助事業等収入	618	0	0	0	0	0
共同募金配分金収入	3,512	0	0	0	0	0
負担金収入	762	60	0	702	0	0
介護保険収入	14,304	0	0	0	0	0
雑収入	2,320	1,200	0	0	0	0
受取利息配当金収入	510	60	0	0	0	0
経理区分間繰入金収入	1,950	450	0	0	1,500	0
経常収入計 (1)	57,665	29,645	700	2,789	3,443	100
人件費支出	34,034	20,215	0	0	0	0
事務費支出	13,482	7,976	825	1,221	90	36
事業費支出	72	0	0	0	0	64
共同募金配分金事業費	3,512	0	0	0	0	0
助成金支出	5,197	0	0	1,568	3,629	0
負担金支出	306	306	0	0	0	0
会計単位間繰入金支出	1,326	1,326	0	0	0	0
経理区分間繰入金支出	1,950	1,500	0	0	0	0
経常支出計 (2)	59,879	31,323	825	2,789	3,719	100
経常活動資金収支差額 (1)-(2)=(3)	△ 2,214	△ 1,678	△ 125	0	△ 276	0
施設整備等による収支						
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出及び繰入支出	0	648	0	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	648	0	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (4)-(5)=(6)	0	△ 648	0	0	0	0
財務活動による収支						
積立預金取崩収入	3,900	3,900	0	0	0	0
財務収入計 (7)	3,900	3,900	0	0	0	0
投資有価証券取得支出	8	8	0	0	0	0
その他の支出	1,466	1,466	0	0	0	0
財務支出計 (8)	1,474	1,474	0	0	0	0
財務活動資金収支差額 (7)-(8)=(9)	2,426	2,426	0	0	0	0
予備費 (10)	100	100	0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (3)+(6)+(9)-(10)=(11)	△ 536	0	△ 125	0	△ 276	0
前期末支払資金残高 (12)	536	0	125	0	276	0
当期末支払資金残高 (11)+(12)	0	0	0	0	0	0

地区の出来事やボランティア活動を紹介します。みなさんの情報をお待ちしています。



社会福祉 高柳和江氏
感動の笑いで
健康づくり

今年も3月5日、多古町コミュニティプラザ文化ホールで第24回社会福祉大会を開催しました。

「健康づくりは感動の笑医(わらい)から」と題した高柳さんの講演では、笑いが病気の免疫をつくり日ごろから意識をもって生活を楽しむこと、睡眠をたくさんとり魚を食べるとよい体調が維持出来る、選択の少ない人生の方が精神障害になりにくいなどの講話に会場は笑いの渦と化し、好評でした。

大会の席上では、社会福祉の発展に寄与された20の個人、団体に対し表彰状、感謝状を贈りました。

実践発表では多古中2年生の戸村優里さん「幼児虐待について」、川添優悟さん「シノウウコウショウ、エタヒニン」、3年生の鈴木綾乃さん「税についての作文」と題する作文、多古高2年生の土屋侑奈さんからは「園芸セラピーとの遭遇」の意見発表がありました。

続いて多古中ブラスバンド部員40人による演奏発表。

ポップスや演歌など幅広いジャンルの曲目が披露され、会場は感動で涙を浮かべる場面も見られました。

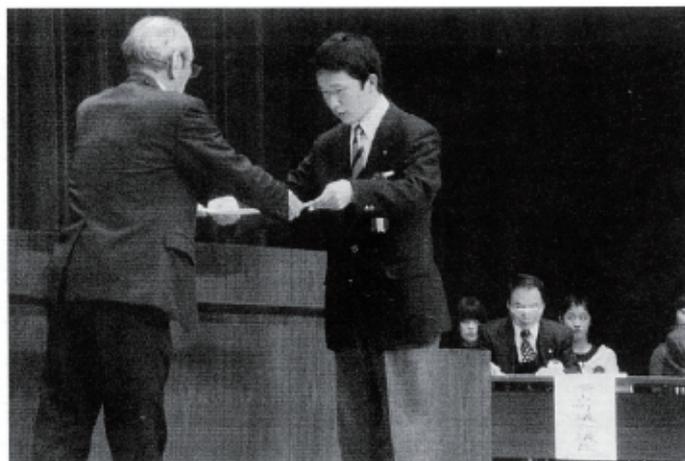
ダンスによるパフォーマンスは、会場の人々を魅了し、ひととき大きな拍手が送られました。

被頭彰者は次の通りです。



▶代表して講師に花束贈呈

◀表彰式のひとコマ



◆表彰者

地域福祉活動やボランティア活動募金、寄付活動にご尽力いただきました。(敬称略)

- 有田 隆 (北中)
- 秋山 三枝 (飯笹)
- 半田 スミエ (飯笹)
- 金杉 初江 (御料地)
- 平山 雅子 (大門)
- 平山 弘 (多古)
- 芹川 聡 (多古高)
- 郡司 龍平 (多古中)
- 勝又 菖太 (多古中)
- 平山 佑太郎 (多古中)

◆感謝状

- 小島 拓海 (多古中)
- 平山 栞 (多古中)
- 山崎 愛実 (多古中)
- 多古第二小学校児童会
- 高橋 美響 (久賀小)
- 白鳥 夏菜 (常磐小)
- 株式会社カクタ
- 柴田 重郎 (南中)
- 前田 秀一 (北中)
- 小川 進司 (多古)



▶演奏する多古中ブラスバンド部

熱戦の二チレクボール大会

優勝は高津原第一Aチーム

2月15日、多古町老人クラブ連合会主催の第10回二チレクボール大会がコミュニティプラザ多目的ホールで行なわれ、会員96名32チームが参加しました。

並木保健福祉課長のあいさつの後、プレー開始。

青と赤の旗を持った記録員の指示に従いボールを投げ、出来るだけ標的に自分のチームの球を多く集めるか、心と体の2つのバランスが大変重要となる競技です。

この大会を通して多くの仲間とふれあい、ゲームを楽しみながら健康生活を考える良い機会となつて、今後の活動にもつながると会員は終始白熱したプレーを繰り広げ、今回もまた盛大な大会となりました。

成績は次のとおりです。(敬称略)

優勝 高津原第一Aチーム

準優勝 鳥第二有楽クラブ

3位 南玉造第3福寿クラブ

世界一高い試験棟を視察

常磐地区社会福祉協議会

常磐地区社会福祉協議会(林和浩会長)は、2月1日、芝山町のエレ

ベータ製造会社の視察研修を行ないました。

工場のスタッフから案内や注意事項などの説明を受けた後、板金塗装など行なっている第2棟へ。

板金に成型加工や塗装を施し、かごパネルやドア、枠などを作っている過程を見学しました。

次に世界一高いエレベーター試験棟テストタワー(地上39階、地下6階、地上高154.2m)の36階展望室へ。

展望室から見下ろせる成田空港を一望した一行は、都内のビル群や東京タワーや、東京スカイツリーを探す様子が見受けられました。



エレベータ製造会社で



施設を見学する一行

最後にショールームでいろいろな種類のエレベーターでの緊急地震速報との連動シミュレーションなどを体験、見学して工場を後にしました。

離陸や着陸間近かの飛行機が見える成田のホテル内で昼食、次の視察場所の山武市の「さんぶの森あららぎ館」や、「さんぶの森公園」では展望室に登り、元気館では施設内の見学をしました。

国会議事堂を視察

多古第一地区社会福祉協議会

多古第一地区社会福祉協議会(郡司幸夫会長)は、2月4日、千代田区永田町の国会議事堂の視察研修を行ないました。

議員食堂で昼食をとったり、衆議院議場や御休所、中央広間などを見、

紹介議員の秘書から熱心な説明を受けました。

なかでも4階の中央広間は吹抜けで、上方から光線を取り入れた窓と天井にはステンンドグラスがはめこまれ、広さは約267平方メートル、天井までの高さは約32メートルあり、広間には議会政治確立に功労のあった伊藤博文、板垣退助、大隈重信の銅像が三方に立っていて、特に興味深い様子でした。

浅草寺付近の墨田公園では、2012年開業予定をしている建設中の東京スカイツリー見学も行ない、墨田川越しに写真におさめる人も多く見受けられました。



衆議院玄関前にて 第一地区

